

1. 小学校から幼稚園へ

こうした新しい石井式漢字教育の作戦を考案し、計画し、実践して下さったのが、大阪市の小路幼稚園の井上文克園長でした。

井上先生は私の著書を読まれてすぐ、取る物も取りあえずという形で上京し、私の家を訪ねてくれたのです。その時先生は、「石井方式の普及、日本の教育の改革は、まず幼稚園から手を付けるべきではないか。幼稚園は、それには最も適した場である。私にお任せください」とおっしゃったのです。

その後、大阪で準備された会にたびたび出席して、多くの園長先生に石井式漢字教育の実践について話したり、奨めたりすることになりました。

「幼児が漢字を覚える？ 本当だろうか。本当だとしても、それは一部の幼児に過ぎないのではないか」 そういう考えの園長が多かったと思います。しかし、私と井上先生の熱意が通ってか、実践に踏み切る幼稚園がどんどん増えていき、たちまち、数十の幼稚園がこの教育を力強く押し進めてくれるようになったのです。

コ ラ ム

部首 易

𠄎の変形。意味は**日**にある。日の光のふり注ぐありさまを表した。

【湯】 “日光であたためた水”ということで“日なた水”が本義。

【場】 “日当りの良い“土地”が本義。今は単に“土地”“ところ”をいう。